



# DOCOMO TEAM DANDELION RACING

## Team Release

### 予選レポート

## 2020/12/6 Rd-6 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：15℃ 出走台数：20台

前日の第5戦では、山本選手ポールポジション、福住選手は3位と、素晴らしい予選パフォーマンスを見せた DOCOMO TEAM DANDELION RACING。

ダブルヘッダー2日目の第6戦でも、当然ポールポジション獲得すべく予選に臨んだ。

2グループ制で行われるノックアウト第1予選。

A組 福住選手は、他車がチェックランを開始しても動かず、残り3分でコースイン。

車両の感触を確かめながらのアタックで5位通過。

B組 山本選手も同様にタイミングを待ち、ライバルより少し早目の残り4分を切ってからコースに向かった。落ち着いたアタックで、B組2番手で第2予選へ進む。

第2予選では、まず福住選手がユーズドタイヤでセットアップを確認。山本選手は、チェックラン組がピットインしたタイミングでコースに向かいクリアラップの中アタックに入る。福住選手もニュータイヤに履き替えてコースイン。山本選手6番手、福住選手5番手で第3予選へ。

トップ8を決める第3予選。チームはここで2セットのニュータイヤを投入するプラン。

1セット目、山本選手は暫定2番手、福住選手は暫定3番手のタイム。2セット目でさらにタイムを削るべくアタックした2台だったが、山本選手4位、福住選手は5位で予選を終えた。（\*予選3位のマシンは前日のクラッシュによるエンジン交換を行ったペナルティにより10グリッド降格。スタートグリッドは、山本選手3番、福住選手4番となる）

5：山本選手 予選4位（第1予選B組2位 第2予選6位 第3予選4位）HONDA 勢3位

ポールポジション獲得だけを考慮してプランを立てていましたが、コンディションにしっかりと車を合わせきれませんでした。車は問題なく、セットアップも感触良かったのですが、全てが高いレベルでマッチしないとポールには届かないですね。福住選手とともに2列目スタートです。優勝を十分に狙えるポジションですから、二人で表彰台に上りたいですね。

6：福住選手 予選5位（第1予選A組5位 第2予選5位 第3予選5位）HONDA 勢4位

山本選手のセットアップなどもチーム内で共有しながら予選に臨みましたが、第1予選での感触はあまりよくありませんでした。ドライビングとセットアップを、路面状況に合わせてながら予選を進めましたが、もっと攻めたセットアップでもよかったかもしれません。他車のペナルティもあり、スターティンググリッドは、2列目4番ですので、まずはスタートに集中して、落ち着いてレースを楽しめればと思います。



## 決勝レポート

### 2020/12/6 Rd-6 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：15℃ 出走台数：20台

観客数：5日(土)8,000人 6日(日)12,500人 合計20,500人

2020年後半戦も山場となる鈴鹿サーキット2連戦。第6戦 鈴鹿サーキット決勝は、昨日に続き、12月としては比較的暖かな快晴の下でスタートの時を迎えた。

2周のフォーメーションラップを終えて迎えたスタート。抜群の蹴りだしを見せた福住選手は、3番グリッドの山本選手を押さえ3位で1コーナーへ。福住3番手、山本4番手でオープニングラップを周回。だが、その翌周2周目のシケインで早くもクラッシュ発生。セーフティーカーが導入される。そのセーフティーカーラン中の5周目、山本選手から突如のギアボックストラブルの無線がチームに入る。チームは、トラブルを解消すべくセーフティーカーラン中の山本選手に様々な指示をするが、どの対処も功を奏さず、ピットに向かうとそのままリタイアとなってしまった。

6周目にリスタートするが、8周目の1コーナーでエンジントラブル車両がストップ、同タイミングでリアタイヤバースト車両もあり、再びセーフティーカー導入となる。セーフティーカーラン中の10周目、ピットストップウィンドウが開くとすぐに、チームは福住選手を呼びタイヤ交換を済ませるが、ピットでの逆転はなく実質の2位でコースへ復帰した。トラブル車両の回収が終わり、12周目にリスタート。福住選手はトップを走る大湯選手に何度も仕掛けるが攻略には至らない。19周目にはS字コーナーでスピン車両があり三度のセーフティーカー導入。23周目にリスタートされると、残り7周、オーバーテイクシステムを使った攻めを最後まで続けるも、わずか0.462秒差の2位でレースを終えた。

#### 5：山本選手 リタイア

スタートでは福住選手に先行を許してしまいましたが、マシンの調子は良かったのでタイヤをケアしながらチャンスを伺っていました。そんな矢先にトラブルが出てしまいリタイアとなったのは、ドライバーそしてチームタイトルを考えるうえでとても残念です。

ドライバーポイントは同点で、チームポイントも僅差で迎える最終戦、両タイトルをかけて臨む1戦として、チーム一丸となって昨年のリベンジを果たします。

#### 6：福住選手 2位

これまで多くのチャンスがありましたが、中々上手くかみ合わず、ようやく2位表彰台で終わることが出来て、やっと自分の実力を出せたかなと思います。山本選手がリタイアと聞いたときは、チームタイトルのためにも絶対に優勝したいとさらに強く思いました。オーバーテイクシステムを上手く使って攻めて走りましたが、わずかなチャンスを活かすきれなかったことが悔しいです。2年連続チームタイトルに向けて、自身の初優勝に向けて、最終戦をしっかりと戦いたいです。